

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	杉田 明宏	所属	大東文化大学文学部教育学科
研究集会等名称	社団法人日本心理学会 平和心理学研究会主催 日本心理学会第76回大会 ワークショップ「平和心理学を創る(2): 平和心理学の課題」 (WS124)		
成果概要	<p>◇会場：日本心理学会第76回大会 (専修大学 10212 室) ◇日時：2012年9月13日 15:30-17:30</p> <p>1) 参加人数 (内、認定心理士人数) 会員 約10名 (不明) 非会員 約10名 (不明)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>本研究会の目的は平和心理学に関わる具体的研究を交流しながら、平和心理学の課題を明確化することであった。</p> <p>ワークショップでは、杉田明宏(大東文化大学)といとうたけひこ(和光大学)の司会の下、冒頭に企画責任者の杉田明宏(大東文化大学)が企画趣旨を述べ、平和心理学の概念図を示しながら枠組について提案した。第1報告者の草柳和之(メンタルサービスセンター)は、ドメスティックバイオレンスと平和について報告した。第2報告者の坂西友秀(埼玉大学)は、偏見研究と平和心理学との関係について報告した。第3報告者の笹尾敏明(国際基督教大学)は、コミュニティ心理学の立場から貧困問題を中心に報告する予定であったが、急用のため欠席となった。指定討論者の中島常安(名寄市立大学)は、非暴力の心理学の立場から2つの報告についてコメントした。最後の全体討論では質疑応答と意見交流を行いながら平和心理学の課題について話し合った。</p> <p><成果> ・平和心理学の研究と実践の現状をさまざまな研究領域から報告し合い、活発な意見交換を行うことを通じて、平和心理学の現状が共有され、課題が明確化された。</p> <p><将来計画> ・今後とも学会・研究会の会員外への成果普及のために公開シンポや日本心理学会における研究会を企画しながら、平和心理学の研究成果を蓄積していきたい。</p>		